

キャッチフレーズ

「明るいあいさつ しっかり返事 響く歌声」

# せな



龍郷町立大勝小学校 学校便り 令和4年1月号

2022年 寅年のスタートにあたり

校長 前田 浩之

臨時休業から2022年がスタートしました。新型コロナの変異株は感染力が強く、感染拡大防止のため、各集落の「年の祝い」も中止になったところが大半だったようです。私も寅年生まれの子供でしたが、還暦の赤いちゃんちゃんこを着ることはなく、当然同窓会を開くこともできず、少々物足りない新年のスタートでした。また、17日始業の前日には真夜中に津波警報が発出され、寝そびれてしまい、生活リズムを整えるのに苦労しているところです。子どもたちにも適度な運動と睡眠、規則正しい食事を御家庭で意識くださるようお願いいたします。

さて、始業式で「言霊（ことだま）」について話をしました。言葉には不思議な力があります。相手を元気づけることも、逆に傷つけることも可能です。「できる、できる。」と言い続ければ、いつのまにかできるようになり。「だめだ。だめだ。」と言われると、心がひねくれてしまいます。「大切な友だちを、元気づける言葉遣い」を意識して、三学期を過ごしてほしいと話しました。御家庭でも、プラスの声かけを子どもたちにかけてほしいと思います。

スポーツでは「声を出せ！」ピンチになったとき、相手チームにリードを許したとき、チームキャプテンや指導者はそう指示を出します。選手自身が、自らを鼓舞するためです。声を出すことで、マイナスに傾きかけた気持ちをプラスに転じさせ、内在するエネルギーをアドレナリンとして放出するのです。ピンチを乗り越え逆転で勝利を手にする喜びは、圧倒的に勝利するより何倍もうれしいものです。野球部の指導をしているときに、部員にはこう声をかけていました。「ピンチを楽しめ。映画でもドラマでも、主人公は必ずピンチに陥る。ハラハラ・ドキドキ。そこが一番面白い。」

コロナ禍というピンチですが、私たち大人も、自分自身にプラスの声をかけ乗り切っていきましょう。

**Kites rise highest against the wind - not with it.**

(風は風に向かっているときに最も高く揚がる。流されているときではない。) イギリスの元首相ウインストン・チャーチルの言葉です。

大変なときこそ「大きく変わるチャンス！」大きく成長できる2022年なることを願います。

受賞おめでとうございます

みなさん、よくがんばりました！



今年の年男・年女の5年生17名へ、當田嶺男先生から、手作りのトラの置物を頂きました！



校内のヒカンザクラも、ほころび始めています！

## 2月の行事予定

7日(月)	S SW来校
11日(金)	祝日「建国記念の日」
12日(土)	土曜授業
14日(月)	S C来校
15日(火)	P T A 理事会
16日(水)	持久走試走
21日(月)	S SW来校
23日(水)	祝日「天皇誕生日」
24日(木)	持久走大会 学校保健安全委員会 学級P T A